

甲斐市議会 厚生環境常任委員会 会議録

1. 開催日時 令和6年9月30日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（7名）

委員長	清水和弘君	副委員長	保坂康君
	山本英君		依田那津希君
	加藤敬徳君		谷口和男君
	滝川美幸君		

欠席委員（1名）

金丸寛君

傍聴議員（3名）

議長	秋山照雄君		山坂賢太君
	若尾彰子君		

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中澤一昭	書記	藤井涼子
書記	深澤隼人		

内容

- 1 令和7年度当初予算への要望について
- 2 視察研修について

開会 午後 3時53分

○書記（深澤隼人君） ご参集、大変お疲れさまです。

それでは、ただいまから厚生環境常任委員会を開会いたします。

本日の委員会は、初めに委員長より挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいります。

それでは、次第2、委員長挨拶、清水委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水和弘君） 皆さん、改めて、こんにちは。

今日は、通常の委員会の時間と、ちょっとイレギュラーの時間で、次のいわゆる計画の中で、ちょっと時間を遅くしてありますけれども、ご苦労さまでございます。

今日は、ご案内してありますように、令和7年度の予算要望のことについてが1件と、それから、委員会の研修旅行についての2題となっています。皆さん方に慎重審議をいただきますようお願いいたしまして、挨拶と代えさせていただきます。

ただいまの出席委員は7名です。定足数に達しておりますので、これより厚生環境常任委員会を開会します。

なお、金丸委員は欠席の連絡がありましたので、報告をいたします。

本日は、委員外議員の傍聴を許可しますので、ご承知ください。

○委員長（清水和弘君） 初めに、委員の皆さんに報告します。

9月15日執行の甲斐市議会議員補欠選挙において当選されました山本英議員、依田那津希議員が、議長により厚生環境常任委員に指名されました。本日の委員会から出席しておりますので、山本委員から一言お願いいたします。

山本委員。

○委員（山本 英君） こんにちは、山本英です。

今回、補欠選で当選させていただきました。

まだ入ったばかりで、至らないところばかりだとは思いますが、先輩議員、そして皆様に、いろいろご指導のほう、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水和弘君） 続いて、依田委員、一言お願いします。

依田委員。

○委員（依田那津希君） こんにちは、依田那津希です。

右も左も分からないですが、今回、厚生環境常任委員会所属となりましたので、どうか皆様、ご指導をよろしくお願いいたします。

○委員長（清水和弘君） ありがとうございます。

山本委員と依田委員のご活躍を期待しております。

それでは、これより次第3、内容に入ります。

初めに、令和7年度当初予算への要望についてを行います。

令和7年度当初予算への要望については、各常任委員会で協議を行い、1事業を決算審査特別委員会へ提出することになっております。

事前に、5名の委員から要望事項の提出がありましたので、内容の協議を行います。本常任委員会からの要望事項を決めたいと思います。

また、若尾議員から要望事項を提出されており、提出期限までは同委員でありましたので、本人から説明を受けたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水和弘君） それでは、そのようにいたします。

それでは、順次、委員からの説明を受け、質疑や協議を行った後に、改めてどの提案を推薦するか、各委員のご意見をお伺いしたいと思います。

それでは、初めに、保坂副委員長、説明をお願いいたします。

保坂副委員長。

○委員（保坂 康君） 私が提案したのは、ひとり親の支援ということで、いろいろな支援はあるんですけども、いろいろ、うちの従業員とかも話を聞くと、やっぱり親子で出かけられるケースがないと。

僕が思うには、なかなかひとり親さんの場合、時間も取れない、お金も取れない。そういうので、子供たちがやっぱり夏休みとか、そういうときに出かけられないで、寂しい思いをするというふうなケースをよく聞きましたので、全額という形じゃないですけども、ある程度的人数で、ある程度の規模で、テーマパークなりどこでもいいんですけども、そういうところに連れて行ってあげて、1日親子の関係を築いていただきたいというふうに思うところです。

これに関しては、全部ただということじゃなくて、やっぱり親御さんのほうもある程度の、1,000円ぐらいとか、そういう負担をさせてもらって、あと、子供のためにというふうな時間を取っていただくとか、そういう意味で今回は提案させていただきました。

以上です。

○委員長（清水和弘君） ありがとうございます。

次に、加藤委員、説明をお願いします。

加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） 私のほうからは、包括的支援事業、地域包括センター運営事業というところで、内容的には、地域包括センターというのは、高齢者の様々な相談を受ける窓口となっておりますが、これからの時代では、家族関係や地域のつながりとかが希薄で、頼るべき友人・知人がいない独居老人が増えていくということが予想されております。

そのような高齢者の、例えば葬儀や埋葬、財産処分などの終活相談とか、多岐にわたる相談に対応するために、各分野に対応できる人材を派遣してほしいという部分の予算を増やすことを要望いたします。

以上です。

○委員長（清水和弘君） ありがとうございます。

次に、谷口委員。

○委員（谷口和男君） 私のほうからは、訪問介護ですね。

今年度からの報酬改定で、訪問介護の報酬が引き下げられたということですね。もちろん、待遇改善のための補助は出ているんでしょうけれども、あまりにも低過ぎるということで、山梨県でも廃業するところが出てきてしまっていると。

そして、ケアマネジャーさんの方に聞いたんですけれども、甲斐市においても、ちょっと山間部というか、少し人口密度の低いところ、そういうところに行くと、交通にかかる時間に対しては報酬がないものですから、非常に厳しくなって、近くしか引き受けてくれないとか、そういう事業が出てきているものですから、ぜひ、特に訪問介護の補助をお願いしたいと、そういうことです。

○委員長（清水和弘君） 分かりました。ありがとうございます。

次に、滝川委員、説明をお願いします。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） それでは、令和7年度の当初予算への要望書を提出させていただきます。

す。

4 款衛生費、1 項保健衛生費、3 目健康推進費、事業名は01母子保健事業です。事業内容、甲斐市版ネウボラ推進事業について要望をいたします。

甲斐市ネウボラ推進事業は、少子化対策として大変重要な事業であります。様々なサービスを利用しながら、身近な場所で子育ての悩みなどの相談ができること、安心して出産や産後ケアが受けられる環境整備は、本市の未来にとり、大変に重要な投資と考えます。

しかしながら、山梨県産後ケアセンター事業、また、市内の産科で行われている日帰り型事業については、利用者の要望に沿えず、利用しづらいという声があります。

また、妊産婦の死亡の原因の第1位は、自死との調査結果も出ているところであります。無論、原因は様々であります。家族構成の変化、ひとり親、生活困窮、心身の不調などを抱えての出産なども、産後鬱の原因とも考えられています。

本市のネウボラ推進事業であります産後ケア事業の拡大により、妊産婦の安心・安全が守られ、より一層の少子化対策につなげるために、ぜひ予算要望を要求いたします。

以上です。

○委員長（清水和弘君） ありがとうございます。

最後に、若尾議員、説明をお願いします。

若尾議員。

○議員（若尾彰子君） 私からは、4 款衛生費、1 項保健衛生費、3 目健康推進費、母子保健事業の事業内容、甲斐市版ネウボラ推進事業について提案いたします。

本事業につきましては、様々な取組を行っていただき、効果を上げていることは承知しておりますが、産後ケアに関しましては、宿泊型・日帰り型併せて、市民の方から、なかなか利用しづらいという声をいただいております。

また、これまでのネウボラ推進事業の一つでありました養育支援訪問事業は、今年度で委託先事業所が解散予定であり、来年度のめどは立っていない現状です。現在、本市の産後の母子を支える、家族を支える支援は、手薄になっているというふうに危惧しております。

日本産婦人科医会からも、妊産婦の死亡原因のうち、第1位が自殺という調査結果が出ており、自殺には産後鬱が深く関わっております。この産後鬱を予防するためには、妊娠中、出産直後からの早期発見・早期介入が非常に重要になってきております。

また、同時に、出産育児で疲れているお母さんが、ゆっくりと心身を休めるということが非常に重要になっておりますので、ゼロ歳から利用できる母体の休息を含めた産後ケア事業

の拡大が必要と考え、予算の要望を提案いたします。よろしくお願いいたします。

○委員長（清水和弘君） ありがとうございます。

提案は以上であります。

要望書の内容について、質疑等がありましたら、お願いいたします。

質疑ございますか。

谷口委員。

○委員（谷口和男君） 1番の保坂委員に聞きたいんですけども、テーマパーク入園券、これは具体的には、どのようなテーマパークを想定されているのでしょうか。

○委員長（清水和弘君） 保坂副委員長。

○委員（保坂 康君） これは、決まったところでは今ないんですけども、多分、山梨県内でしたら富士急ハイランドとか、あと愛知県とか、あとディズニーとか、そういうふうな形になると思うんですけども、どこでも大体1万円とか、そういうくらいの金額になってしまうので、親子で入っても2万円、食事をしたらその倍とかいう形になるので、そこを何とか思い出のために、思い出づくりじゃないですけども、そのために少しの予算を取っていただきたいなというふうに思っておりますので、特別どこかというイメージは今のところないです。

○委員長（清水和弘君） 滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 同じく保坂委員さんにお尋ねいたしますけれども、この種の支援というのは、今、民間の支援をしてくださっている団体などで、いろんな補助金を頂いて、夏休みとかにそういう体験をさせてあげるといふ活動をしている団体もありますので、何回でもありませんけれども、やはりそういう活動の中で努力をして、子供さんたちにそういう、よい思い出をつくるようにさせてあげているのかなということは私も伺っています。

それから、各地域での育成会の事業の中でも、子供さんを連れてハイキングに行くとか、そういうことを各地域でも、非常に今、配慮してやってくださっている自治会も多いなということは感じています。

意見として、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水和弘君） そのほかございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水和弘君） なければ、質疑を終了します。

それでは、提案者の説明や質疑などを踏まえ、厚生環境常任委員会としての令和7年度当

初予算への要望はどの提案を推薦するか、各委員の意見を随時確認したいと思いますが、それぞれ自身の提案がありますが、提出者が多く、内容も異なるため、自分の提案以外の推薦をお願いいたします。

なお、山本委員、依田委員については、今回初めての委員会であり、決算審査特別委員会にも出席していませんので、意見聴取はいたしませんので、ご了承ください。

それでは、初めに、保坂副委員長、お願いいたします。

○委員（保坂 康君） 私は、ここに2つ、滝川委員、若尾議員と出ているので、ネウボラ事業というのがやっぱり、女性からすると大変かなというふうな思いでありますので、これにしたいと思います。

○委員長（清水和弘君） 分かりました。

それでは、加藤委員、よろしいでしょうか。

加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） 私も、自分以外のものという決まりであれば、やっぱり、同じような内容と言ったらちょっとあれなんですけれども、同じところを言っているの、ネウボラ事業なんですけれども、自分以外のって、何でそういうふう選ばなきゃいけないのかというのが、ちょっとあれなんですけれども。

○委員長（清水和弘君） 参考意見として聞いております。

○委員（加藤敬徳君） 自分はやっぱり、これをやりたいと思って出しているの、それを選べないというのはちょっとおかしな気がしますね。

以上です。

○委員長（清水和弘君） よろしいでしょうか。

次に、谷口委員。

○委員（谷口和男君） 私も、子育ても介護も非常に重要な問題だとは思いますが、私の出した提案というのは、補正予算でも提案したりとか、そういうこともできることを考えて、あとネウボラも、ここを見ると、自死が一番多いとか、あと事業所が撤退するとかいうことで、非常に深刻な問題だとも思いますので、滝川委員とか若尾議員の出したネウボラ推進事業のほうを賛成したいと、自分の以外でしたらね。

○委員長（清水和弘君） ありがとうございます。

それでは、滝川委員、お願いします。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 私も、自分以外と言われて、本当に困ったなと思っておりますけれども、それでは、若尾議員が前厚生環境常任委員会の中で決算をした方ですので、そちらから出ていますので、若尾議員のネウボラ事業という返答でよろしいですか、答えて。

○委員長（清水和弘君） 大丈夫ですよ。

○委員（滝川美幸君） じゃ、そのようにお願いいたします。

○委員長（清水和弘君） 分かりました。

ありがとうございました。

ここで、暫時休憩をいたします。

休憩 午後 4時10分

再開 午後 4時11分

○委員長（清水和弘君） それでは、会議を再開します。

それでは、意見の集約をしたいと思います。

滝川美幸委員、それから若尾彰子議員の要望に対する意見が多いようですので、それではお諮りいたします。本委員会からの要望事項は、若尾議員の要望ですることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水和弘君） それでは、そのように決定いたします。

なお、提出する文面は、提案者若尾議員と正副委員長にご一任願います。

以上で、令和7年度当初予算の要望についてを終了します。

続きまして、（2）視察研修について、事務局より説明をお願いいたします。

深澤書記。

○書記（深澤隼人君） それでは、お手元に、来月10月31日、11月1日で実施します厚生環境常任委員会の視察研修の日程表、参加者名簿、予算を配付させていただきましたので、確認をお願いいたします。

過去の研修の精算報告等で確認をしましたところ、バス、有料道路、駐車場、宿泊、食事代、施設見学等につきましては公費の中で賄われておりますが、それ以外の部分として、夕食時の飲み物代や寸志、添乗員の経費等につきましては、議員の皆様の個人負担によって賄

われております。

予算の表にありますとおり、収入及び支出の濃い色の部分のところが公費で賄う部分、白い部分が個人負担で賄う部分となっております。

つきまして、今回の研修につきましても、以前と同じように、議員さんは1人当たり1万円徴収させていただき、対応したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、負担金は、研修当日の朝に徴収させていただきますので、よろしくお願いいたします。残金がある場合については、精算後に返金させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、視察についての質問事項を27日まで受け付けておりました。2名の方から提出されておりますので、よろしくお願いいたします。

説明は以上です。

○委員長（清水和弘君） 説明が終わりました。

何か質疑ございますか。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 視察研修の質問事項なんですけれども、27日ということでしたので、1か所しかちょっと調べなかったんですけれども、まだ時間の余裕があつて、受付がまだ大丈夫ですよということであれば、もう少し考えてみたいなと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

○委員長（清水和弘君） 深澤書記。

○書記（深澤隼人君） 取りまとめさせていただいて、相手方に送る関係で、今回このようにさせていただいたんですが、もう一か所のほうについては、特に期限を設けずにも大丈夫ですので、また頂ければ、その後随時、質問事項として送らせていただきたいと思います。

○委員長（清水和弘君） そのほかございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水和弘君） なければ、質疑を終了します。

以上で視察研修についてを終了します。

次に、委員より、常任委員会関係でその他何かありましたら、よろしくお願いいたします。ありませんか。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水和弘君） 事務局より何かございますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水和弘君） ないようですので、その他を終了いたします。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして、厚生環境常任委員会を閉会します。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 4時16分